

第六十四回帝國議會
衆議院

恩給法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

恩給法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年二月二十三日(木曜日)午前十一時
二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 津崎 尙武君

牧野 賤男君 八角 三郎君

匹田 銳吉君 竹下 文隆君

山根 儀重君 松田 正一君

鈴木富士彌君 後藤 亮一君

坂東幸太郎君

出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 樋貝 詮三君

法制局長官 堀切善次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

○津崎委員長 ソレデハ只今ヨリ恩給法中

改正法律案ニ關スル委員會ヲ開キマス、先
ヅ政府ノ説明ヲ求メマシテ、其次ニ政府ニ
要求スベキ書類モアラウト思ヒマスカラ、
其御要求ヲ願ヒマシタ上、時間ノ都合デ質
疑ニ入りタイト思ヒマス

○堀切政府委員 恩給法改正ノ大體ノ趣意

ハ本會議デ中上デマシタガ、尙ホ改正ノ各

項目ニ付キマシテ、一通リ要領ヲ申上ゲタ

イト思ヒマス、改正ノ第一ノ點ハ恩給年限

ノ延長デアリマシテ、恩給年限ヲ延長シマ

スコトハ從來ニ於キマシテモ屢問題ニナッ

テ居リマシテ、現行法ニ規定致シマス所ハ

短カ過ギルカラ之ヲ相當ニ延バシテモ宜イ

デハナイカト云フコトヲ色々研究シタノデ

アリマスガ、之ヲ餘リニ甚シク延長シマス

コトハ、或ハ場合ニ依リマシテハ多數ノ雇

員デアリマスコカ、或ハ下級ノ軍人デアリ

マスコカ云フヤウナ方面カラ、恩給ヲ貰フ

ト云フ希望ヲ奪ッテシマフ結果ニモナルノ

デアリマシテ、非常ニ之ヲ長ク延バシ過ギ

ルト云フコトハ餘程考慮ヲ要スルト考ヘタ

ノデアリマス、サウ云フ點カラ致シマシテ、

此案ニ於キマシテハ、原則ト致シマシテ二

年間延長スルト云フコトニ致シマシタ、唯

下士以下ノ軍人ニ付キマシテハ、延長後ノ

年數ヲ警察監獄職員ノ年數ト同一ナラシメ

ル爲ニ、是ハ一年ノ延長ニ止メタノデアリ

マス、延バシマシタ結果、文官、教育職員、

待遇職員ニ付キマシテハ、現在十五年ノモ

ノガ十七年ニナリマス、國務大臣ガ現在五

年ニナッテ居リマスノガ七年ニナリマス、ソ

レカラ准士官以上ノ軍人ガ現在十一年ニ

ナッテ居リマスノガ十三年ニナリマス、下士

以下ノ軍人及警察、監獄職員ガ、現在下士

以下ニ付キマシテハ十一年、警察、監獄職員

ハ十年ニナッテ居リマスガ、是ハ兩方トモ十

二年ト云フコトニ致シタノデアリマス、之

ニ關シマシテ、ソレト經過ノ規定ヲ設ケ

タ次第デアリマス

第二ハ基礎俸給ノ變更デアリマス、現行

法ニ依リマス、基礎俸給ハ退職シタ時ノ

俸給ヲ基礎トシテ居ルノデアリマスガ、是

ハ今度ノ改正案ニ依リマシテハ、恩給額算

出ノ基礎トナルベキ俸給ノ額ハ、退職前一

年間ノ本俸ノ額ニ依ルト云フコトニ改メタ

ノデアリマス、但シ此一年内ニ於キマシテ、

一緩以上昇給シテ居リマシタ場合ニ、是ガ

二年以上昇給シナイデ經過シタ後ニ爲サレ

タ一級以上ノ昇給デアリマス場合ニハ、其

一級程度ノ昇給ハ退職一年前ヨリ爲サレテ

居ルモノトシテ取扱フト云フコトニ致シタ

ノデアリマス、是ガ原則デアリマシテ、尙

ホ軍人ニ付キマシテハ恩給最短期限ニ付キ

認メラレテ居リマス普通恩給額ノ三倍ヲ以

テ假定俸給年額トシテ只今ノ原則ヲ適用ス

ルト云フコトニ致シタノデアリマス、尙ホ

二十年以上勤続シテ退職シタ者ニ付キマシ

テハ此一級限度ノ制限ヲ二級限度トスルト

云フコトモ經過規定トシテ設ケタ次第デア

リマス、之ニ依リマシテ從來ハ退職ヲ致シ

マス時ニ二級、三級、甚シキハモット餘計ニ

俸給ヲ飛バシマシテ、サウシテソレヲ基本

ニシテ行クト云フヤウナ遣方ヲ相當喰止メ

ル目的ヲ以テ斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第デア

リマス

ソレカラ第三ニハ低位ノ傷病恩給ノ創定

デアリマシテ、現行法ノ傷病賜金ハ、詰リ

増加恩給ヲ給スル程度ニ達シナイ下士以下

ノ傷病軍人ニ與フル一時金デアリマスガ、

現行法ノ傷病賜金ヲ給セラレル程度ノ傷病

ノ中デ、第一款症乃至第四款症ニ該リ、且

ツ永續性ヲ有スト認メラルモノニ對シテ新

ニ傷病年金ノ制度ヲ設ケマシテ、之ヲ四ツ

ノ階段ニ分ッテ、各症狀ニ配當シタノデアリ

マス、詰リ公務ノ爲ニ不具癱疾トナリマシ

タ者ニ付キマシテハ、現行法上普通恩給ト

増加恩給トヲ給シテ居ルノデアリマシテ、其遺族ニハ扶助料ヲ給スルコトニナッテ居ルノデアリマス、其程度ノ不具癡疾ニ至ラナイ者ニ付キマシテハ、現行法上ハ下士官以下ノ者ニノミ一時賜金ヲ給スルコト、ナッテ居ルノデアリマス、然ルニ約十年前カラ一時賜金ヲ受ケマシタ軍人ガ更ニ年金ヲ給與セラレタイト云フ陳情ヲ續ケテ來テ居リマシテ、昭和七年カラ恩給外ノ形式ニ於キマシテ、傷病程度ノ稍、重イ者ニ對シテ恩給法ノ改正ニ至ルマデ、毎年一定ノ額ヲ給與スルト云フコトニナッテ居リマスガ、此事情ハ獨リ下士官以下ノ軍人バカリニノミ存スルモノデハナイノデアリマシテ、之ヲ一般公務員、殊ニ巡查、看守ニモ及ボスコト、致シマシテ、不具癡疾ノ程度ニ達シナイ公務傷病者中、其程度ノ稍、高イ者ニ不具癡疾者ニ給スルモノヨリ稍、低イ傷病年金ヲ給スルト云フ制度ヲ設ケテ譯デアリマス

マスノデ、甚ダ事情ニ於テ氣ノ毒ナ次第デアリマシテ、非常ニ困ルヤウナ狀態デアリマスノデ、五年間ハ三割ヲ加給スルト云フ制度ヲ設ケテ次第デアリマス

其次ニ第五番目ニハ一時恩給及一時扶助料ニ付キマシテ最短期限ヲ設ケテ次第デアリマス、繼續在職ノ年數三年ニナラナケレバ一時恩給及一時扶助料ヲ支給シナイト云フコトニ、三年ノ在職年限ノ最短期限ヲ設ケマシタ

次ニ第六ニハ一時恩給者ガ再任シタ場合ノ效果デアリマス、一時恩給ヲ一旦受ケテ罷メマシタ者ガ再任致シマシタ場合ニハ、從來其儘年數ハ恩給年限ニ通算サレルコトニナリマシテ、其受ケタ金額ニ對シテハ何等ノ規定ガナカッタノデアリマスガ、是ハ場合ニ依リマシテ不權衡ノ結果ヲ生ズルコトモアリマスノデ、其場合ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、一時恩給ヲ受ケテ退職シマシタ者ガ、在職年一年ヲ二月ニ換算シマシテ、其二月ニ換算シマシタ其月數内ニ再就職ヲ致シマシタ場合ニハ、其在職年換算月數ト退職ヨリ再就職迄ノ月數トノ差ヲ、退職當時ノ俸給ノ二分ノ一ニ乗ジタル金額ノ十五分ノ一ヲ普通恩給ヨリ控除スルト云フ細カイコトニナリマスガ、結局一旦辭メテ再

ビ就職シタト云フ場合ニハ、辭メタ時ニ一時恩給ヲ貰ッテ居リマス其恩給ヲ、モウ一遍在職シマシタ場合ニハ、其遊ンデ居ル間ハ在職ノ時ノ二分ノ一ノ收入デ暮シテ行クモノト考ヘマシテ、ソレヲ超過シタ部分ニ付テハ前ニ貰ッタ金額ヲ返サセルカ、或ハ返ヘサナイ場合ニハソレヲ恩給ノ金額カラ十五分ノ一ヲ引ク、詰リ十五年デソレダケノモノヲ返ヘサセルト云フ建前ニシタノデアリマス、一旦罷メテ間モナク又再就職シタト云フヤウナ時ニハ、前ニ貰ッタ一時恩給ハ其儘得フシタト云フヤウナ形ニナルコトヲ防グ方法ヲ講ジタ譯デアリマス

マス、是ハ恩給外ノ所得ガ年額五千圓以上デアリ、恩給總額年額千圓以上ヲ有スル者ニ付キマシテ停止スル方法ヲ考ヘタノデアリマス、其停止スル割合ハ、恩給ト他ノ所得ヲ合セマシテ六千圓ヲ超エマス場合ニハ、其超エル金額ノ二割ニ當ル金額デアッテ、恩給ノ金額ハ千圓ヲ下ルコトノナイヤウニ、サウシテ又恩給金額ノ二割以上ニハ達シナイヤウニ、其範圍内デ六千圓ヲ超ユル者ノ二割ヲ停止スルト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス

ソレカラ第七ニハ受給者ノ年齢ニ依ル停止デアリマス、是ハ非常ニ年齢ガ若クテ、十分ニ働ケルノニ、普通同ジ恩給ヲ受ケテ居ルト云フコトハ少シ良過ルトモ考ヘラレマスノデ、三十五歳未満ノ者ニ付キマシテハ六分ノ一ヲ減ジ、四十歳未満ノ者ニ對シマシテハ八分ノ一ヲ減ズル、其金額ヲ停止スルト云フ規定ヲ設ケマシタ、但シ増加恩給又ハ傷病年金ヲ伴フモノニハ停止ハ致シマセヌ

第九ハ失權失格ノ原因ノ整理デアリマス、從來ハ六年以上ノ懲役禁錮ニ處セラレタ者ハ失權スルコトニナッテ居リマシタガ、是ハ二年以上ノ禁錮ト云フコトニ改メマシタ、尙ホ在職中ノ職務ニ關スル犯罪ニ依リマシテ、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル時ニモ失權セシムルト云フ規定ヲ設ケマシタ、尙ホ遺族扶助料ニ付キマシテハ、遺族デアル夫又ハ妻ガ事實上他人ト婚姻ノ關係ニ入ッタト認メラレル時ニハ、審査會ノ議ヲ經テ失權セシムルコトガ出來ルト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス

マセヌデ、一時ニ餘リニ扶助料ガ減リ過ギ

ノデアリマス、從來ハ此特別ノ加給ガアリ

第八ハ多額所得者ノ恩給停止デアリマス、所得ノ澤山アル者ニ對シマシテノ恩給ノ支給ヲ一部分停止スルト云フ規定デアリ

第十八恩給法八十五條ニ關スル改正デアリマシテ、大正十二年十月一日前ニ退職料ヲ受ケタ巡查看守等デアリマシテ、其後引

續イテ警部又ハ看守長トナリマシタ者ノ在職年ヲ一定ノ條件ノ下ニ警部ノ在職年ニ通算スル途ヲ開イタノデアリマス

第十一ハ恩給法第九十九條ノ廢止、デゴザイマシテ、教職員ガ恩給ヲ受ケテ居リマシテ、其人ガ再ビ他ノ職ニ再任致シマシタ場合ニハ、其普通恩給ノ全部ノ停止ヲ受クルト云フコトハナク、俸給ノ前後ノ差ヲ計算致シマシテ、其前ノ俸給ヨリ少イ部分ダケハ矢張恩給ヲ支給スルト云フコトニナッテ居ッタノデアリマスガ、此規定ヲ廢止致シマシテ、一般ノ公務員トノ間ニ差ノナイコトニ致シタノデアリマス

ソレカラ第十二ニハ個人ノ納金ヲ或ハ新設致シマシタリ、或ハ増額ヲ致シタノデアリマス、公務員ニ付キマシテハ、從來納金制度ノナイモノニ付キマシテハ、俸給ノ百分ノ一ヲ納付スルコトニ致シマシタ、既ニ其制度ノ在ルモノニ付キマシテハ、從來ノ百分ノ一ノ上ニ更ニ百分ノ一ヲ納金スルコトニ改メタノデアリマス、之ニ付キマシテハ經過規定ヲ置キマシテ、此改正ハ各個人ニ付キマシテ昇給ノアツタ時、新任者ニ付キマシテハ、新任ノ時カラ之ヲ實行スルト云フ經過規定ヲ置キマシテ、苦痛ヲ緩和スル方法ヲ講ジタノデアリマス

ソレカラ十三ニハ休職等ノ在職ノ計算ノ變更デアリマス、休職、停職、歸休ノ一箇月以上ニ互ルモノニ付キマシテ、詰リ事實上職務ヲ執行デ居ナイ期間ニ付キマシテハ、在職年ノ計算ニ付キマシテ之ヲ半分ニ計算スルト云フコトニ改メマシタ

ソレカラ十四ニハ加算ノ規定ノ整理デアリマス、遠洋航海加算ノ在職期間一箇月ニ對シテ、二分ノ一加算シテ居リマシタノヲ、此方ハ三分ノ一ノ加算ニ減ジマシタガ、一年以上引續キ海軍ノ編隊艦船ニ乗組ミ、上陸制限ヲ附セラレマシテ、準戰訓練ニ服シマシタ者ニ對シマシテハ、其在職期間一箇月ニ付テ、三分ノ一ヲ加算スルト云フ制度ヲ新ニ設ケタ次第デアリマス、ソレカラ植民地ニ付キマシテハ、加算ノ要件ニナッテ居リマス在勤ノ期間ヲ延シマシテ、一般ノ方面ニ付キマシテ現在三年マデ加算ガ附キマシタノヲ、ソレヲ四年ト致シマシタ、警察官監獄職員ハ現在二年ノヲ三年ニ致シマシタ、軍人ハ六箇月デ付クノヲ一年ニ改メタノデアリマス

ソレカラ十五ト致シマシテハ、受給權調査デアリマシテ、一年置キニ一度恩給受給者ニ付キマシテ、其權利ノ存スルカ存シテ居ナイカヲ調査ヲ致シマシテ、嚴重ニ此點

檢査ヲスルコトニ致シタノデアリマス

ソレカラ終リニ恩給法中色々ノ規定ノ整理ヲ致シマシテ、從來規定ノ不備或ハ用語ノ不正確、其他之ニ準ズベキ事項ヲ此機會ニ於テ整理ヲ致シタノデアリマス

尙ホ改正ノ内容ハ大體今申上ゲタヤウナ次第デアリマスガ、從來問題ニナッテ居リマシタ恩給ニ對スル融通ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ現在通りニ致シテ置キマシテ、一般ニハ擔保其他ノ處分ヲ禁ジテ居ルノデアリマスガ、何カ特別ノ機關ヲ作ッテ、恩給ニ對シテ金融其他ノ途ヲ開クコトガ非常ニ必要デヤナイカト云フ從來議論ガアルノデアリマスガ、此點ハ今度ノ改正ニハ出マセヌケレドモ、尙ホ今後モ十分研究スルコトニ致シマシテ、今回ノ改正デハ之ニ觸レテ居ナイノデアリマス、改正案ノ大體ノ要綱ハ今申上ゲタヤウナ點ニ過ギナイノデアリマス、尙ホ御質問ニ應ジテソレ／＼申上ゲタイト思ヒマス

○山根委員 材料ヲ一ツ御願致シマス、現ニ恩給ヲ受ケツ、アル者ノ恩給ヲ受クルニ至ッタ最初ノ年、即チ退職シテ恩給ヲ取ルニ至ッタソレ迄ノ在勤ノ年限ガ統計ニ出テ居ル、何年在勤ノ者ハ何人、何年在勤ノ者ハ何人ト云フモノガ出テ居ラウト思ヒマス、其統計、ソレカラ初メテ恩給ヲ受クルニ至ッタ年齢ガ分ッテ居ラウト思ヒマスガ、其年齡、是ガ材料ヲ一ツ願ヒタイ

○八角委員 私モ材料ヲ願ヒマスガ、大正十二年ノ恩給法改正ノ以前ニ、兵籍簿ニ記載ナイ爲ニ、扶助料ヲ受クルコトガ出來ナイデ居リマスル者ノ數ガ、御分リニナッテ居リマスルナラバ其數、第二ニ下士官兵デ恩給資格ヲ有シマシテ現役ヲ去リマス平均年齡ハドレ位デアリマスカ

○樋貝政府委員 只今御要求ニナリマシタ大正十二年ノ恩給法改正前ニ兵籍ハ入ッテ居ルケレドモ、兵籍簿ニ載ラナイ妻ノ數ガドノ位ニナルカ、其數ヲト云フ御要求デゴザイマシタガ、是ハ實ハ未ダ分ッテ居リマセヌ、非常ナ手數ヲ掛ケマセヌト調べ上リマセヌ爲ニ、目下調査ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、コ、一二日ノ中ニハ到底分リマセヌ

○八角委員 大體多イダラウト云フ御見込デゴザイマスカ、少イダラウト云フ御見込デゴザイマスカ

○樋貝政府委員 サウヒドク多クハナイダラウト思ヒマスガ、此方ニハ二色アリマシテ、公務傷病ニ依ッテ増加恩給ヲ貰ッタヤウナ者ノ妻デアル者ト、サウデナイ者ト兩方

アルガラウト思ヒマス、公務傷病ニ依ッテ増加恩給ヲ貰ヒマスヤウナ者ノ妻ノ數ナラバ、割合ニ少イガラウト思ッテ居リマス、サウデナイ者マデ入レマスト、是ハ非常ニ多イ數ニナルガラウト思ヒマスガ、ソレマデ調ベルト云フコトハ可ナリ手數ガ掛リマス

○八角委員 主トシテ私ノ要求シマスルノハ、日露戰爭デ傷痍ヲ受ケマシテ、サウシテ其時ハ未ダ妻ヲ貰ハナイデ居ッテ、其後妻ヲ貰ッテ、サウシテ大正十二年以前ニ死ンダ爲ニ非常ナ不幸ニ陥ッテ居ル者ノ數、ソレノ大體ノ見込デモ願ヒタイ

○樺貝政府委員 實ハ能ク分リマセヌノハ、恩給局ニ於キマシテモ、陸海軍等ニ於キマシテモ、其爲ノ統計ガ取ッテ居リマセヌ、態、是ハ別ニ手續ヲ考ヘテ取ラナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、今差當リ其數ガ分ッテ居リマセヌ、今回ノ案ニ其點ガ入ッテ居リマセナカッタノモ、ソレガ一ツノ理由ニナッテ居ル次第アリマス、隨テ今ノ材料ハ此本委員會ニハ一寸間ニ合ヒ兼ネルト思ッテ居リマスガ、先ヅ想像シマスル所デハ、二千カソコラデハナイカト思ッテ居リマス、併シソレハ全クノ想像デゴザイマシテ、數ハハッキリ致シマセヌ

○山崎委員 モウ一ツ材料ヲ願ヒマスガ、

五十九條ノ納付金ノ新設若クハ増額ニ依ル増加ノ金額ヲ各別ニ御願致シマス

○匹田委員 是ハ今御答ガ伺ヘレバ答辯ヲ願ヒマスガ、此恩給改正法ヲ執行シタ結果、恩給費ノ昭和八年度ノ豫算ニ載ッテ居リマスノハ下ノ位減ルト云フ、計數上ノ御調べガ出來テ居ルナラバ之ヲ承リタイ、ソレカラ多額所得者ノ恩給停止、是ハ金額ニ見積ッテドノ位アルノデアリマスガ、ソレ等ニ關スルコトヲ今伺ヘレバ、今デモ宜シウゴザイマスガ伺ヒタイ

○樺貝政府委員 只今御要求ニナリマシタ此改正ノ結果財政上下ウ云フヤウナ影響ヲ及ボスカト云フ點ニ付テハ、調べタモノガアリマスガ、細カイ數字デスカラ表ニシテ差上ゲマス、ソレカラ多額所得者ノ停止額ハ、凡ソノ見込デアリマシテ、キチットハ分リマセヌガ、總額年二十五萬圓位ト考ヘマス、是モ表ニシテ御目ニ掛ケマス

○津崎委員長 尙ホ私カラ御願致シマス、恩給法實施後ノ各年度別ニ國庫カラ支給セラレタ恩給額、詰リドウ云フヤウニ毎年恩給ガ支給サレテ居リマスガ、國庫支給ト其他ノ區別ガ出來ルナラバソレモ知リタイ、ソレカラ恩給ヲ受ケル者ノ最高ト最低額、其各金額ニ對スル受恩給者ノ概數、例ヘバ

二千圓臺ガ幾ラ、百圓臺、二百圓臺、三百圓臺ガ幾ラ、其段階ハアナタノ方ノ御調ニ依ッテ適宜デ宜シイ、ソレカラ扶助料ニ對シテモ同様ナ數字ガ分リマシタラ御調べヲ願ヒマス

○樺貝政府委員 只今ノ第一ノ點ハ此處ニ數字ヲ持ッテ居リマスガ、アトデ表ニシテ差上ゲマス、其他ノ點ニ付テハ今數字ヲ持ッテ居リマセヌカラ、此次ニ差上ゲマス

○津崎委員長 何カ外ニ御要求ハアリマセヌカ——又アリマシタラ後デ要求スルコトニ致シマス、質問ハ此次ニ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後零時一分散會